

赤井学長 2期8年を振り返る
建学の精神を
旗幟鮮明に

明治15年に母体である皇典講究所が設立されて以来、日本の歴史や文化、宗教といった「日本」を探究してきた国学院大学は、こうした建学の精神を旗幟鮮明にし、個性を磨いてきた。

今号では、3月末に退任を迎える赤井益久学長に、東日本大震災に見舞われた直後の平成23年4月に就任して以来、震災対応、創立130年、135年の節目を経て本法人の中期計画「21世紀研究教育計画」(第4次)に掲げる「国学院ブランドの確立と強化」に力を注いできた2期8年を振り返ってもらった。18歳人口の減少や、いわゆる「大学文系不要論」、東京23区内の大学の定員増が認められなくなるなど、大学を取り巻く環境は大きく変化してきた。本学はこの8年間、何に挑み、何を得てきたか。

[6・7面に関連記事]

みはるかすもの

横浜市南区で昭和60年5月、酔った人から現金を奪った男たちを追跡した大学生2人が、犯人に刃物で刺され死傷する事件が発生した。被害者を救おうとしたのは、経済学部4年生だった平野英司さんと友人の大学生3人。平野さんは、派出所に届け出る途中、取り押さえた犯人の一人に左胸部を刺され命を落とした▼当時の学報には、葬儀に参列した吉川泰雄学長の「御両親、肉親の方々の、忘れがたいお悔みはいかばかりでいらつしやいましょう。(略)君の貴い死が社会を善くする一端となつてくれればと思います」との弔辞が載せられている▼この事件で

は、事件現場の目の前が派出所だったが、警官が不在にしていたことが問題に。神奈川県警は事件の翌月、交番に警察署への直通電話を設ける対策を講じている▼今年1月に千葉県野田市で起きた小学生的虐待死の事件では、連日胸をえぐられるような痛ましい報道が続いている。逮捕された母親や対応が不適切だったと指摘される関係機関は、なぜ父親の虐待を止められなかったのか。悲しみとともに疑問ばかりが募る▼昨年3月にも東京都目黒区で5歳だった女兒の虐待死事件が起こり、連日報道が繰り返されたことは記憶に新しい▼繰り返される子どもたちの悲惨な死を、大人たちが自らへの戒めや行いを改め、「社会を善くする」端緒にしなければ、語られる「悲劇を二度と起こしてはならない」は空疎な言葉でしかない。



「平成」で最後となる成人加冠式が1月12日、渋谷キャンパスで執り行われた。12回目を迎えた今年には、色鮮やかな平安衣装を身にまとった男女計54人の新成人学生が参加し、多くの保護者や教職員、在学生から祝福を受けた。式典では、成人の証しである冠や釵子などを教職員から授与される「加冠の儀」の後、学内の神殿に奉告。続く「祝賀の儀」では、在学生が祝意を込めた神楽舞などを披露した。国内の大学で、神式の成人式を公式行事として行うのは本学のみとなっている。

[2面に関連記事]

20年間の成長祝う
「平成」最後の成人加冠式

「新しい国づくりの担い手に」

成人加冠式で武田神道文化学部長



神道文化学部の主催で1月12日、渋谷キャンパスで厳かに執り行われた成人加冠式。同学部をはじめ、文学部、法学部、人間開発学部の新成人学生の男女各27人が参列し、男子学生は衣冠など、女子学生は正服などをそれぞれ身につけた。新成人が着用した装束は、院友神職会東京都支部から寄贈されたもの。

初めに「加冠の儀」が120周年記念2号館祭式教室で行われ、武田秀章神道文化学部長・教授ら6人の教職員が加冠役となり、男子学生には冠や烏帽子、女子学生には釵子や額当を一人一人の頭上に授けた。

武田学部長は「会場には諸準備を進めてきた多くの学生たちの真心が

隅々まで息づいています。そうした真心こそが神道の心です。今年には『御代替わり』の年であり、新しい時代の扉が開かれます。新成人の皆さんも、新しい国づくりの担い手として発たれることを祈念します」と祝辞を述べた。

新成人学生を代表して答辞を述べた宮川周子さん（神文2）は、家族や友人、先輩、後輩、教職員への感謝を表すとともに、「新成人として、一社会人としての責任を自覚し、これまで多くの方々からいただいたきたものを今度は私たちがお返しするという強い決意をしています。私たちはお互いに切磋琢磨して一層の努力を怠らず、大学の名に恥じぬよう

う社会に貢献して邁進していく所存です」と決意を新たにした。写真

続いて神殿に移り、「大学神殿奉告の儀」が行われた。修祓の後、和田有司さん（同）が誓詞を奏上し、全員で拝礼。再び祭式教室に戻って「祝賀の儀」を行い、学生有志による祝意を込めた神楽舞や祭祀舞などが披露された。写真下。

式典を終え、和田さんは「偶然ではありますが、平成で最後の成人加冠式に臨むことができました。今年には御代替わりにより元号が変わりますから、新しい気持ちで、すがすがしく生きていきたいです」と晴れやかな表情。式典を見守った父、考司さん（昭61卒・94期史）は「誓詞の大役をしっかりと務めた姿を見て、ほっとしました。私も少しずつ子離れしていかないとありませんね」と目を細めた。

佐藤百香さん（史2）は「これまで『未成年だから』と自分に言い訳をすることもありました。これから大人としての扱いを受けるからには、自分の行動や発言に責任を持つていかなければならないと感じています」ときっぱり。母、薫さんは「念願の式典に親子で参加させていただくことができました。格式がありながらもアットホームな形で温かくお祝いをしていただけたことが、とてもうれしく思います」と感無量の様子だった。



『古事記』に対する理解や日本文化への関心を促すことを目的とした第2回「古事記アートコンテスト」(古事記学センター主催、神道文化会共催)の受賞作品が決定した。

今回から大学生、高校生の2部門に分けて『古事記』の内容に関する絵画やイラストを公募し、全国から337点(大学生部門99点、高校生部門238点)の応募があった。

最も優秀な作品に授与される特選には、大学生部門で長谷川さくらさん(日文1)の「天照大御神と八咫鳥」が、高校生部門で半戸健太さん(東海大学付属相模高3年)の「大國主神と白兔」が選ばれたほか、各部門の入選、佳作、審査員特別賞が別表(最終面)のように決まった。また、新たに設けられた高校生部門の団体賞には、北海道大森高校が選ばれた。

表彰式が2月10日、渋谷キャンパス有栖川宮記念ホールで行われ、受賞者に賞状などが贈られた。表彰式では、赤井益久学長が「今年度から高校生部門に広がり多く応募いただきました。ありがとうございます」と挨拶。谷口雅博・古事記学センター長(文学部教授)が審査員を代表し、「アートコンテストをきっかけに『古事記』を学ぶことが浸透してくれば。(入賞作品には)『古事記』が描かれたつづ独創的であることが求められます。選ばれた作品は特徴があり引き付けられるものがありました」とたたえた。

受賞作は、本学博物館で3月16日まで展示されている。

第2回古事記アートコンテスト 特選に長谷川さん、半戸さん

一般入試 志願者増やす A日程 1万4500人が受験



本学の一般入学試験の志願者は1月24日現在、センター試験利用型入試V方式(Ⅰ期)で4000人近く増えるなど好調に推移している。2月2日から4日まで実施された本学A日程入学試験には、昨年度より多い1万4503人が出願。入学試験は本学会場(渋谷・たまプラーザ)のほか地方8会場でも実施。大きなトラブルなく3日間の試験を終えた。合格発表は2月13日。

本学の一般入学試験は、2月25日にB日程入試が行われる。センター試験利用型入試では、V方式(Ⅱ期)の出願を3月2日まで受け付ける。

新校舎「総合学修館(6号館)」に



渋谷キャンパスで再開発事業の一環として旧専門学校跡地に建設中の新校舎は、名称を「総合学修館(6号館)」とすることに決まった。地下2階地上3階建ての建物は今年3月の竣工を目指し工事が続いている。

日建設計による洗練されたデザインの総合学修館(6号館)は、国際交流ラウンジやエクステンション事業の一環としてオープンカレッジなどを展開する予定。隣接する氷川神社の鎮守の杜を望む自習スペースも整備され、学生たちの積極的な利用が期待される。

第140回神職養成講習会を開講



第140回神職養成講習会が2月6日から始まった。この講習会は、神社本庁の定めにより、必要な資格を短期間に取得させることを目的に開講している。今回は、直階44人、権正階24人が受講。

神殿での開講奉告祭に続いて行われた開講式では、赤井益久学長が「国学院大学は設立当初から神職養成を担ってきており、日本の国柄と文化を精緻に研究教育することに努めてきました。長い歴史と伝統に連なる意識を持ち、勉学に励んでいただきたいと思います」と挨拶した。講習会の期間は、直階が3月7日、権正階が9日まで。

同講習会では、昨年夏までに約1万8千人の受講生が修了している。

資金収支補正予算書平成30年4月1日から平成31年3月31日まで(単位:百万円)

収入の部				支出の部			
科目	補正予算	予算	増減	科目	補正予算	予算	増減
学生生徒等納付金収入	13,601	13,419	182	人件費支出	9,927	9,819	108
手数料収入	643	633	10	教育研究経費支出	3,782	3,793	△11
寄付金収入	465	451	14	管理経費支出	1,262	1,275	△13
補助金収入	2,074	2,220	△146	借入金等利息支出	13	13	0
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	730	730	0
付随事業・収益事業収入	174	140	34	施設関係支出	3,152	3,819	△667
受取利息・配当金収入	143	121	22	設備関係支出	683	675	8
雑収入	639	577	62	資産運用支出	6,098	3,025	3,073
借入金等収入	1,606	606	1,000	その他の支出	463	185	278
前受金収入	2,409	2,391	18	予備費	499	499	0
その他の収入	4,278	4,514	△236	資金支出調整勘定	△237	△192	△45
資金収入調整勘定	△2,804	△2,656	△148	当年度支出合計	26,371	23,641	2,730
当年度収入合計	23,228	22,416	812	翌年度繰越支払資金	7,598	7,537	61
前年度繰越支払資金	10,741	8,762	1,979	支出の部合計	33,969	31,178	2,791
収入の部合計	33,969	31,178	2,791				

事業活動収支補正予算書平成30年4月1日から平成31年3月31日まで(単位:百万円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	補正予算	予算	増減	特別収支	科目	補正予算	予算	増減	
		学生生徒等納付金	13,601	13,419	182		事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		手数料	643	633	10			その他の特別収入	338	337	1
		寄付金	163	149	14			特別収入計	338	337	1
		経常費等補助金	2,054	2,200	△146		事業活動支出の部	資産処分差額	124	24	100
		付随事業収入	174	140	34			特別支出計	124	24	100
		雑収入	639	577	62		特別収支差額	214	313	△99	
	事業活動支出の部	教育活動収入計	17,274	17,118	156	[予備費]	499	499	0		
		人件費	9,771	9,778	△7	基本金組入前当年度収支差額	573	464	109		
		教育研究経費	5,379	5,382	△3	基本金組入額合計	*△4,646	△6,233	1,587		
		管理経費	1,397	1,416	△19	当年度収支差額	△4,073	△5,769	1,696		
教育活動支出計		16,547	16,576	△29	前年度繰越収支差額	△1,488	△3,262				
教育活動収支差額		728	542	186	基本金取崩額	0	0				
					翌年度繰越収支差額	△5,561	△9,031				
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	143	121	22	(参考)					
		その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計					
	事業活動支出の部	教育活動外収入計	143	121	22	事業活動支出計					
		借入金等利息	13	13	0	※■第1号基本金…23億4,600万円 教育の質向上のために取得した固定資産の価格					
		教育活動外支出計	13	13	0	■第2号基本金…3億円 教育の質向上のために将来取得する固定資産取得に充てるもの					
教育活動外収支差額		130	108	22	■第3号基本金…20億円 基金として継続的に保持し、かつ運用する資産となるもの						
経常収支差額		858	650	208							

平成30年度学校法人国学院大学補正予算は、1月24日の理事会・評議員会で承認、成立した。

◇資金収支予算

資金収支予算は、会計年度中のすべての収入および支出の内容と支払資金の顚末を明らかにすることを目的としている。

◇事業活動収支予算

事業活動収支予算は、①教育活動②教育活動以外の経常的な活動③①②以外の活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金に組み入れる額を控除した、当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動お

よび事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としている。つまり、「3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにする」「区分経理、「均衡の状態を明らかにする」「収支の均衡を主な目的としている。詳細は本学ホームページに掲載している。（財務部経理課）

新年度 学年暦が決定 新年度の学部・大学院の学年暦が決定した。詳細は別表のとおり（入試関連行事を除く）。

学部学年暦	
3月30日(土)～4月6日(土)	オリエンテーション、履修ガイダンスなど
4月2日(火)	入学式
4月8日(月)	前期授業開始
4月30日(火・休)	校内整備（休講）
5月1日(水・祝)	神殿鎮座記念祭（休講）
5月2日(木・休)	校内整備（休講）
5月3日(金・祝)	「憲法記念日」ですが、通常の授業を実施します
5月4日(土・祝)	「みどりの日」ですが、通常の授業を実施します
5月6日(月・休)	「こどもの日」の振替休日ですが、通常の授業を実施します
7月15日(月・祝)	「海の日」ですが、通常の授業を実施します
7月25日(木)	前期授業終了
7月26日(金)～8月1日(木)	前期試験
8月6日(火)～8日(木)	追試験
8月9日(金)～9月19日(木)	夏季休暇
9月2日(月)～5日(木)	サマーセッション①
9月9日(月)～12日(木)	サマーセッション②
9月20日(金)	後期授業開始
9月23日(月・祝)	「秋分の日」ですが、通常の授業を実施します
10月14日(月・祝)	「体育の日」ですが、通常の授業を実施します
10月22日(火)	即位礼正殿の儀（休講）
11月1日(金)	国学院大学創立記念祭（休講）
11月4日(月・休)	国学院大学創立記念日
11月23日(土・祝)	「勤労感謝の日」ですが、通常の授業を実施します
12月25日(水)	土曜日の振替授業日
12月26日(木)	月曜日の振替授業日、年内授業終了
12月27日(金)～1月6日(月)	冬季休暇
1月7日(火)	授業再開
1月18日(土)	大学入試センター試験会場のため休講
1月21日(火)	後期授業終了
1月22日(水)	補講実施指定日（1～7時限）＜通常授業なし＞
1月23日(木)～29日(水)	学年試験
2月6日(木)～8日(土)	追試験
3月22日(日)	卒業式（予定）
3月23日(月)～26日(木)	スプリングセッション

大学院学年暦	
4月1日(月)	大学院入学式・新入生履修指導
4月1日(月)～6日(土)	オリエンテーション・履修ガイダンス
4月8日(月)	通年・前期授業開始
4月8日(月)	通年・前期開講科目…履修登録締切（正午）
4月30日(火・休)	校内整備（休講）
5月1日(水・祝)	神殿鎮座記念祭（休講）
5月2日(木・休)	校内整備（休講）
5月3日(金・祝)	「憲法記念日」ですが、通常の授業を実施します
5月4日(土・祝)	「みどりの日」ですが、通常の授業を実施します
5月6日(月・休)	「こどもの日」の振替休日ですが、通常の授業を実施します
5月31日(金)	「修士学位申請論文題目届」提出締切（正午）
7月15日(月・祝)	「海の日」ですが、通常の授業を実施します
7月25日(木)	前期授業終了
7月26日(金)～8月2日(金)	前期補講・集中講義
7月26日(金)～9月19日(木)	夏季休暇
9月20日(金)	後期授業開始
9月20日(金)	後期開講科目…履修登録締切（正午）
9月23日(月・祝)	「秋分の日」ですが、通常の授業を実施します
10月14日(月・祝)	「体育の日」ですが、通常の授業を実施します
10月22日(火)	即位礼正殿の儀（休講）
11月1日(金)	国学院大学創立記念祭（休講）
11月4日(月・休)	国学院大学創立記念日
11月23日(土・祝)	「勤労感謝の日」ですが、通常の授業を実施します
11月30日(土)	「修士学位申請論文第1次題目届」提出締切（正午）
12月25日(水)	土曜日の通常授業を実施
12月26日(木)	月曜日の通常授業を実施、年内授業終了
12月27日(金)～1月6日(月)	冬季休暇
1月7日(火)	授業再開
1月8日(水)	「修士学位申請論文」提出締切（正午）
1月18日(土)	大学入試センター試験会場のため休講
1月21日(火)	後期授業終了
1月22日(水)～29日(水)	後期補講・集中講義
3月21日(土)	学位記授与式



法学部では、特別展「神に捧げた刀―神と刀の二千年―」が1月22日に開幕した。同展では、刀剣にまつわる神話や物語が書かれた『古事記』『日本書紀』『平家物語』などにみる「古代祭祀と刀剣」や「中世東国の武士と神社への信仰」などをテーマに、神や神社に関係する刀剣の歴史的背景を明らかにしている。

会場には、東国などの神社が所有するものを含む刀剣9本のほか、関連する文学・絵画資料などを展示。刀剣をモチーフにしたアニメやゲームの影響で近年増えている若い女性の刀剣ファンが連日訪れている。

26日に行われた笹生衛館長（神道文化学部教授）による「刀の神と神の刀」と題したミュージアムトークでは、集まった約300人の聴講者に神として崇められた刀がどのように祀られていたかなどを解説した。

会期は、3月16日まで。

審査結果	氏名（学年）	テーマ
優秀賞	遠藤 晃広（4年）	いわゆる囑託傷害致死は何罪か
	北島 真帆（4年）	保護処分終了後における取消規定について―あるべき少年再審制度の構築に向けて―
佳作	大久保秀耶（4年）	強制処分法定主義による強制処分の再検討
	大沼 知佳（4年）	動物福祉と殺処分
	金子 尚人（4年）	刑事処分規定に関する少年法改正の是非
	戸井 優来（4年）	協議・合意制度の多角的検討と新たな手段の模索
	菅野 糸（3年）	「異端児」―河野太郎の転換点と描く未来―



経済学会が主催する「経済学会懸賞論文」の今年度の受賞者が決定し、1月23日に渋谷キャンパスで表彰式が行われた。

この懸賞論文は、経済・経営・会計など（経済ネット各コースも含む）に関するテーマで、経済学部生を対象に昨年12月上旬に募集を行った。今年度は昨年度より17件多い40件の応募があり、経済学部全教員による厳正な審査のもと、最優秀賞1本、優秀賞3本、佳作7本が選ばれた。

表彰式では、経済学会の橋元秀一会長（経済学部長・教授）が「皆さんの努力が2・3年生に引き継がれていくことを期待しています」「院友経済会の間々田恒臣副会長は、「経験を生かしてよい社会人になってください」とそれぞれ学生たちの努力を称えた。受賞論文の講評に続き、受賞者には賞状と副賞が手渡された。

具体例を通して日本企業の現状と課題を考察した「グローバル・ニッチトップ中小企業のイノベーション・マネジメント―知的財産の活用と企業間ネットワークの構築―」で最優秀賞に輝いた坂下幸香さん（経4）は「（論文制作では）結論の着地点を決めることに苦労しました。頑張ってきたので受賞はとてうれしいです」と喜びを語った。

審査結果	氏名（学生）	テーマ
最優秀賞	坂下 幸香（経4）	グローバル・ニッチトップ中小企業のイノベーション・マネジメント―知的財産の活用と企業間ネットワークの構築―
優秀賞	辛島 千咲（経ネ4）	メディアからみるダイエットブームの変遷
	川口 遥夏（経営4）	貧困の連鎖を断ち切るために―通塾クーポン事業の現状と課題
	山口由里香（経営4）	CSRにおけるマーケティング的視点の必要性―経済的価値をもたらすCSRとは
佳作	会田 優介（経4）	日本の住宅取引の現状分析と今後の不動産業界における有効な施策について―CAGEモデルを活用した仮説検証による業界分析―
	稲野辺美帆（経4）	京成本線沿線の中古マンション価格の決定要因
	金子 結衣（経4）	日本女子バレーボール・プレミアリーグにおいて勝率が高いチームの研究
	高橋 良太（経ネ4）	主要大学就職実績の分析と新卒採用市場の考察―クラスター分析と回帰分析を用いて―
	金子 愛実（経3）	プラスチックによる海洋汚染問題―脅威と対策―
	中国 奏人（経営3）	ベーシック・インカムの多様性と資本主義の未来―自由・市場・国家をめぐる―
	中野 裕貴（経3）	MLBにおける投球分析

優秀賞に遠藤さん（4年）、北島さん（4年）

法学会懸賞論文

国学院大学博物館 刀剣テーマの特別展にファン続々

国学院大学博物館では、特別展「神に捧げた刀―神と刀の二千年―」が1月



22日に開幕した。同展では、刀剣にまつわる神話や物語が書かれた『古事記』『日本書紀』『平家物語』などにみる「古代祭祀と刀剣」や「中世東国の武士と神社への信仰」などをテーマに、神や神社に関係する刀剣の歴史的背景を明らかにしている。

会場には、東国などの神社が所有するものを含む刀剣9本のほか、関連する文学・絵画資料などを展示。刀剣をモチーフにしたアニメやゲームの影響で近年増えている若い女性の刀剣ファンが連日訪れている。

26日に行われた笹生衛館長（神道文化学部教授）による「刀の神と神の刀」と題したミュージアムトークでは、集まった約300人の聴講者に神として崇められた刀がどのように祀られていたかなどを解説した。

会期は、3月16日まで。

お金との付き合い方を考える機会に 奨学生を対象に講演会

日本学生支援機構奨学金を受給する学生を対象とした特別企画として「上手な奨学金とのつきあい方～今後の人生に必要なお金を学ぼう～」が1月16日、渋谷キャンパスで行われた。

講師に招かれた文化放送キャリアパートナーズの巴由梨さんは、卒業後に社会人として働く際の雇用形態や給与の仕組みなどを、具体例を挙げながら説明。その上で卒業後の生活には、月々の生活費やライフイベントにかかる支出に加えて奨学金の返済があることを指摘し、「奨学金は未来を作る自己投資。お金のことを考えることで人生や仕事について考える機会にしてほしい」と呼びかけた。

人間開発学部長賞に21人



平成30年度人間開発学部学部長賞の受賞者が発表され、今年度は21人の同学部生が選ばれた。授賞式は1月17日、たまプラーザキャンパスで行われた。受賞者は田沼茂紀同学部長・教授から表彰状と副賞・記念品を受け取った。

同賞は、同学部の理念に基づき、優れた実践的活動を表彰することを目的として、平成23年度に設置された。

受賞学生は以下の通り（敬称略）。

◇初等教育学科▼4年▽石川友望▽小杉明璃▼3年▽青木貴明▽新倉壮人▽畠中優衣▼2年▽青木萌太郎▽浅道優華▽石塚来輝▽亀井駿▽金子侑生▽塩澤斗吾◇健康体育学科▼3年▽今川峻一郎▽長谷川彩海◇子ども支援学科▼4年▽齋藤律希▼3年▽上田奈々▼2年▽川村ちひろ▽神澤はつみ▽鳥居美晴▽原田真実▽平尾咲季▽村上奈実子

最優秀賞に坂下さん（経4）

経済学会懸賞論文

経済学会が主催する「経済学会懸賞論文」の今年度の受賞者が決定し、1月23日に渋谷キャンパスで表彰式が行われた。

この懸賞論文は、経済・経営・会計など（経済ネット各コースも含む）に関するテーマで、経済学部生を対象に昨年12月上旬に募集を行った。今年度は昨年度より17件多い40件の応募があり、経済学部全教員による厳正な審査のもと、最優秀賞1本、優秀賞3本、佳作7本が選ばれた。

表彰式では、経済学会の橋元秀一会長（経済学部長・教授）が「皆さんの努力が2・3年生に引き継がれていくことを期待しています」「院友経済会の間々田恒臣副会長は、「経験を生かしてよい社会人になってください」とそれぞれ学生たちの努力を称えた。受賞論文の講評に続き、受賞者には賞状と副賞が手渡された。

具体例を通して日本企業の現状と課題を考察した「グローバル・ニッチトップ中小企業のイノベーション・マネジメント―知的財産の活用と企業間ネットワークの構築―」で最優秀賞に輝いた坂下幸香さん（経4）は「（論文制作では）結論の着地点を決めることに苦労しました。頑張ってきたので受賞はとてうれしいです」と喜びを語った。

を対象に昨年12月上旬に募集を行った。今年度は昨年度より17件多い40件の応募があり、経済学部全教員による厳正な審査のもと、最優秀賞1本、優秀賞3本、佳作7本が選ばれた。

表彰式では、経済学会の橋元秀一会長（経済学部長・教授）が「皆さんの努力が2・3年生に引き継がれていくことを期待しています」「院友経済会の間々田恒臣副会長は、「経験を生かしてよい社会人になってください」とそれぞれ学生たちの努力を称えた。受賞論文の講評に続き、受賞者には賞状と副賞が手渡された。

具体例を通して日本企業の現状と課題を考察した「グローバル・ニッチトップ中小企業のイノベーション・マネジメント―知的財産の活用と企業間ネットワークの構築―」で最優秀賞に輝いた坂下幸香さん（経4）は「（論文制作では）結論の着地点を決めることに苦労しました。頑張ってきたので受賞はとてうれしいです」と喜びを語った。

荻原氏に学位記を授与

国学院大学は、学位申請のあった荻原稔氏に対し、審査の結果、学位を授与することを決定した。授与式は2月6日、渋谷キャンパスで行われ、赤井益久学長から学位記が贈られた。

◎博士（宗教学）＝荻原稔氏

荻原氏の学位論文は「井上正鐵門中・禊教の成立と展開」。主査は、井上順孝・大学院客員教授、副査は遠藤潤・神道文化学部教授、弓山達也・東京工業大学教授。



盛大に「新年院友交歓会」



一般財団法人国学院大学院友会による恒例の「新年院友交歓会」が1月26日、院友会館大ホールで行われた。挨拶に立った吉田茂穂会長は「神のお使いであり、勇気を象徴する動物であるイノシシのように信念をもってチャレンジする年にしたい。（箱根駅伝で総合7位になった）陸上競技部の後輩たちの勢いを借りて、院友一丸となって母校を支えていきたい」と述べた。

懇談の途中では、院友会による学術・スポーツ振興基金の目録の贈呈があったほか、恒例の福引き大会では、落語家の三遊亭遊吉師匠（昭57卒・90期文2）の軽妙な進行で会場は大いに盛り上がった。

税理士試験 3人が合格



平成30年度（第68回）税理士試験の結果が昨年12月14日、発表された。本学関係者では大学院修了生3人が難関を突破した。

1月26日には渋谷キャンパスで合格者の祝賀会が開かれ、多くの教員や卒業生、後輩の大学院生が集まった。本学大学院経済学研究科では、22年度にキャリアコースを開設して以来、今年度までに30人の税理士試験合格者を輩出している。

合格者の一人、三浦聡子さん（平27修・123期博前経）は「国学院の特徴は今なお第一線で活躍する実務家の先生に教えてもらえること。今後ともつながりを大事にしていきたい」と心境を語った。

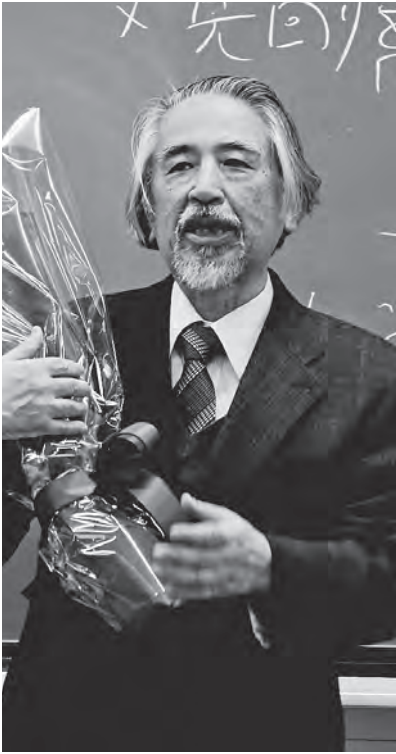
院友2氏率いる高校野球部 センバツ出場決定

第91回選抜高校野球大会の出場32校が1月25日に決まり、院友が監督を務める2校が21世紀枠で初めて甲子園のキップを手にした。

川井政平監督（平9卒・105期文）が率いる石岡一高（茨城）は、昨年の秋季茨城県大会でベスト4進出。農場実習と部活動との両立が新しい形の文武両道と評価された。

小川浩監督（昭58卒・91期文）の富岡西高（徳島）は、3度目の21世紀枠四国地区候補校への推薦で初めての甲子園となった。昨秋の四国大会ではベスト4に進み、学業との両立などが評価された。

退職教員が最終講義



3月末をもって退職を迎える専任教員が学期末となる1月、最終講義を行った。今年度で開設から10年目を迎えた人間開発学部の設置準備室長、初代学部長を歴任した新富康史教授は、担当科目「教育の原理」（1月21日）の中で、「人間開発」に込められた人づくりの心を約1時間にわたって講演。受講生や集まった教職員らに「『損在』を『尊在』にする、頑張ることを応援する、（心の）手当てができる教員を目指してほしい」と熱くエールを送った。写真右。

昭和61年の本学着任以来、就職部長・副学長などを歴任した加藤季夫人間開発学部長は「良き恩師、良き同僚、良き学生に恵まれた日々」と題して、自身の歩みを振り返り、「迷った時は、やってみる。それによって道が開ける」と集まった学生らに話した。写真中。

日本法制史が専門の高塩博法工学部教授は、「国学院と法制史学」と題して最終講義。明治15年の皇典講究所創設以来、律令法制を中心に法制史学を研究してきた小中村清矩、三浦周行、植木直一郎、岩橋小弥太、瀧川政次郎らの研究者と業績をたどった。その上で、本学の法制史研究の沿革は律令法制を中心として学統が築かれたとし、「律令の下に生活をしている古代を勉強するには、律令法制を抜きにはできない。文学、史学、神道学の勉強に律令法制の学問を身につけたほうが、視野が広がる」と語りかけた。写真左。

このほか、永森誠一法学部教授、磯村早苗同教授、池田行伸人間開発学部教授、筒石賢昭同教授らが最終講義を行った。

学問ノ道 第15回

石田幹之助の東洋史研究



皇典講究所初代総裁有栖川宮幟仁親王が宣言された「告諭」に言う「凡ソ学問ノ道ハ 本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ」は、『論語』（学而）に言う「本立チテ道生ズ」に由来し、根本を打ち立ててこそ、自ずと道は開け、自らの生き方や信念が定まると説いている。古く学問と言えば中国の学術、すなわち「漢学」を意味していた。日本人の前には厳然として学問の体系が横たわっており、それを享受し自己のものとするのが学問を修めることでもあった。その中から近世日本において漢学を批判原理として自覚されたのが、広く国学と意識されるわが

国独自の学問体系や研究方法であった。明治23（1890）年、山田顕義公の「國學院設立趣意書」には、広くヨーロッパやアジアを国学の比較対象とすべきとする視野が据えられ、皇典講究所設立当初より、漢学や東洋史は教育課程編成上も研究分野上も重要な位置を占めており、国学の概念を補強している。

文学部史学科の教授であった石田幹之助は、大正5年に東京帝国大学文科東洋史を卒業後、中国に渡ってモリソン文庫を受託し、財団法人東洋文庫の発展に尽くしている。昭和17年に国学院大学教授。その後、日本大学に移るが、37年に再び国学院大学教授に就いている。石田の視点は、研究対象を絶えず複眼的に捉え、立体的に見るところに特色がある。日本文化の海外紹介に尽力すると共に、欧米人の目に映る日本文化、欧米人から見た中国文化といった視野と研究視座が特徴で



昭和16年4月刊 初版本「長安の春」(創元社)

あり、その著作『長安の春』『唐史叢鈔』『東亜文化史叢考』などは、歴史事象をとらえる際に、歴史記述の背景にある伝統的習俗や人々の生活、また西域との交流における独自の発展を細大漏らさず掘り取っている所が優れている。その学問的な含蓄に支えられた文章表現は、いっぽうで名文として名高く、近代日本人の代表的文章として記憶されている。長身瘦躯で和服を着こなしキャンパスを歩く姿は、当時の学生には忘れがたく目に焼き付いている。

学長・文学部教授 赤井益久

国学院大学の出来事	国内外の出来事
3月：卒業式中止 4月：赤井学長就任（1期目）、入学式中止、日本文学科が7時限制移行	3月：東日本大震災発生 7月：なでしこジャパンサッカー女子W杯優勝 9月：野田佳彦内閣（民主党）が誕生
4月：教職センター開設、「私大36ネット」での復興支援 11月：創立130周年を迎える、「21世紀研究教育計画」（第3次）決定	5月：東京スカイツリー開業 12月：第2次安倍晋三内閣（自由民主党）が誕生
4月：子ども支援学科開設、史学科が7時限制移行	6月：富士山が世界文化遺産に登録 9月：2020年オリンピックの開催地が東京に決定 12月：和食が無形文化遺産に登録
4月：ミュージアム連携事業スタート、LLC YOKOHAMA OFFICE、ボランティアステーション開設 7月：第1回学生リアル調査を実施	4月：消費税が8%となる 9月：御嶽山が噴火
4月：赤井学長2期目、国学院科目開講、130周年記念5号館竣工 7月：和装デー初開催	3月：北陸新幹線の開業区間が東京ー金沢区間に延伸 10月：マイナンバー（個人番号）の通知開始
4月：学寮「常盤木」誕生、経済学部50周年 6月：彬子女王殿下（特別招聘教授）をお迎えして米作りワークショップを開始 10月：教育開発推進機構組織変更、渋谷区長への施策提言初開催 11月：「古事記学」が私立大学研究ブランディング事業採択	4月：熊本地震発生 8月：天皇陛下が生前退位についてのお気持ちを表明 11月：米大統領選挙、ドナルド・トランプ氏が当選
3月：古事記学センター開設 4月：21世紀研究教育計画（第4次）を策定、4学部渋谷ー極集中、みちのきちオープン 11月：創立135周年を迎える	1月：米・トランプ大統領が就任、大相撲・稀勢の里が横綱昇進 7月：宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産
3月：法科大学院開鎖 4月：PCAP、K-PLASスタート、学寮「まほろば」誕生 9月：K-SMAPY II スタート	6月：米朝首脳会談、大阪北部地震 7月：西日本豪雨 9月：北海道胆振東部地震 10月：築地市場が豊洲市場へ移転 11月：2025年の万博が大阪に決定



研究実績を礎に強みを伸ばし、 人文・社会科学系の^{しるべ}標に 学長 赤井 益久

**就任直前に
東日本大震災が発生**
——学長就任早々、震災対応を余儀なくされました
東日本大震災が発生した3月11日時点は副学長でしたが、学長就任予定者として対応に当たりました。その年の卒業式、入学式は中止せざるを得ませんでした。余震があり、大勢が一堂に会するのは危険と判断したからです。電力制限から渋谷キャンパスの1号館は使わず、このため授業も変則でした。1年目は震災対応で終わりました。
——国学院大学の将来像を考える5力年の中期計画「21世紀研究教育計画」にかかわってきました
副学長・理事に就任した平成19年度からの第2次計画を任されました。14年度から始まった第1次計画は、神道文化学部の開設や渋谷キャンパス再開発などの個別事業計画にすぎませんでした。そこで担当理事として「包括的、中長期的に考える必要がある」と訴え、次期（第2次）から研究教育開発推進に関する指針を若い職員も加わって議論して作り上げました。
——どういった内容ですか
国学院大学の使命として「3つの慮い」を掲げました。伝統と創造、個性と共生、地域性と国際性という3つの調和です。「慮」という字を当てています。が、「慮る」は神道精神の本

質だからです。日本人としての主体性を保持した寛容性と謙虚さ、つまり相手の立場を慮りながら自己主張して調和を図るということが求められるのです。一方、3つの調和を支える「5つのきい」を設定。教育、研究、人材育成、国際交流、施設設備という5つの基盤を整えることにしました。

ブランドの確立へ

——学長として本格的に携わった第3次で打ち出したかったことは
将来の在り方として「建学の精神を生かした個性ある教育と研究の実現」「日本社会の核を担い、グローバル化する時代に貢献できる人材の育成」「国学院ブランドの確立と強化」を打ち出しました。大学の個性化とそれによる認知度向上を図るのが目的です。これらは第4次でも引き続き注力することになりました。第3次、第4次で国学院の将来像を示す計画を整備しました。具体的に実行していくことで国学院は間違いなく発展していけると確信しています。

——人文・社会科学系を軽視する風潮もあります
人文・社会科学より実学にシフトすることは学問の進展に大きなマイナスとなるうえ、人材育成にも結び付きません。考える力が習得できないからです。国学院大学には人文・社会科学系の学部しかありませんので第4次で「人文・社会科学系の標となる」ことを定めました。日本の歴史や文化、宗教といったこれまでの研究実績を礎に強みをさらに伸ばし、他大学のモデルになる努力を惜しまないとの思いがあります。

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、



一般に広く大学の個性が知られているかという点と疑問符が付きます。入学を志願する高校生や学生の就職先となる企業などから選ばれるにはブランドの確立が不可欠なので

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

一般に広く大学の個性が知られているかという点と疑問符が付きます。入学を志願する高校生や学生の就職先となる企業などから選ばれるにはブランドの確立が不可欠なので

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、

——ブランドを確立するために取り組んできたことは
学生の質の向上に尽きます。そのため幼稚園から中学校、



平成28年から始まった渋谷区長への学生の施策提言。長谷部健区長(左)とともに学生たちのプレゼンを審査し、優秀な提言に学長賞を贈った



平成27年から始まった和装デー。29年は赤井学長自身も和装で講義を行った

珠玉の7作品を紹介

高校生向け2コンテスト

国学院大学とスクールパートナーズ（高校生新聞）による第22回全国高校生創作コンテスト（協賛：国学院大学若木育成会・国学院大学院友会・国学院大学北海道短期大学部、後援：文部科学省・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究連合会・日本進路指導協会）と、第14回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト（協賛：国学院大学若木育成会・国学院大学院友会・国学院大学北海道短期大学部、後援：文部科学省・全国高等学校長協会・農林水産省・全国高等学校校長協会・日本進路指導協会）には、両コンテスト合わせて1万6813点（創作コンテスト1万6085点、伝承文化コンテスト728点）の応募があり、昨年12月に表彰式が行われた。今号では、両コンテストで栄冠を射止めた各部門の最優秀賞作品7点を紹介する。

「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

▽**地域文化研究部門（団体）**：「宮地集落の民俗誌―石川県鳳珠郡能登町 春蘭の里―」 砺波高2年文系・歴史民俗班（富山）
▽**地域文化研究部門（個人）**：「漬物で語る―『知らない』と『忘れる』に立ち向かう人々―」 飯田真世さん（愛知・杏和高3年）

全国高校生創作コンテスト

▽**短篇小説の部**：「遠き虹への反逆」 野口創さん（福岡・筑紫丘高2年）
▽**現代詩の部**：「ながめの息を」 藤井志穂さん（広島・舟入高2年）
▽**短歌の部**：永田海生さん（長崎・大村高3年）
▽**俳句の部**：荒井洋太さん（群馬・太田高2年）

第14回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

折口信夫賞・地域文化研究部門（団体）最優秀賞

宮地集落の民俗誌

―石川県鳳珠郡能登町 春蘭の里―

富山・砺波高2年文系・歴史民俗班
（今多涼也さん、水上亮輔さん、越後菜月さん、佐伯南奈さん）

応募の動機

能登での地域調査で学んだことを民俗誌（調査報告書）として残すことになり、「能登の素晴らしい文化を知ってみたい！」「日本の過疎地域の現状と人々の思いを知ってほしい」との思いから応募に至った。

内容紹介・今後の課題

砺波高では毎年夏、理系コースの2年生が石川県・能登の臨海部で「臨海実習」を行っているが、文系コースには現地に赴いての調査がない。このため、文系コースにも新しく地域調査が計画され、石川県能登町「春蘭の里」の宮地集落で実施された。

①事前学習

宮地集落での調査項目を4人で検討し、分担を決定。限られた時間で現地調査を行う必要性から、事前に宮地集落について調べた。主に「能都町史」という郷土史資料を読み込んだ後、項目ごとの質問票を作成し、現地調査に備えた。

②現地調査

事前学習をもとに、聞き取り調査を実施。地名・年中行事・住まい・食生活など9つの調査項目を、全員で調べるもの▽2人組で調べるもの▽個人で調べるもの―の3つのやり方で調べた。その結果、宮地集落は昔から伝わる伝統行事や伝承文化が今も残っているが、問題点も多々あることがわかった。

③まとめ

過疎と少子高齢化のため文化の担い手となる若い人材が圧倒的に足りないことが挙げられた。それを踏まえ、集落が抱える問題点について意見を交わしながら「宮地集落の民俗誌（調査報告書）」としてまとめ上げた。
過疎に悩む地域では「伝統文化の消滅」と戦わなければならないという厳しい現状にあることがわかった。しかし、地域の人々は修学旅行生や外国人観光客を呼び込んだり、クラウドファンディングで古民家の再生を図ったりと熱意ある活動を続けている。そして活動を中心となっており、年配の方々なのだ。
今回の調査を通して、「地域の伝承文化」を見つめ直すことがどれほど大切かを痛感した。

地域文化研究部門（個人）最優秀賞

漬物で語る

「『知らない』と『忘れる』に立ち向かう人々」

飯田真世さん（愛知・杏和高3年）

応募の動機

前回「漬物は語る―世界に誇る日本食の起源とは―」の研究で優秀賞を受賞した。そこで、民俗学研究の楽しさと魅力を知ったとともに、最優秀賞に手が届かなかった悔しさを味わった。そのため、さらなる漬物の魅力を知りたい気持ちとリベンジしたい気持ちが芽生えた。今回は文献資料



料の読み取りから漬物の歴史について学んだため、今回は聞き取り調査を中心に、漬物のこれからについて研究した。

内容紹介・今後の課題

①香の物の漬けなおしとの出会い
研究のために参加した萱津

地域民話研究部門（個人）最優秀賞

「鬼」考

―今昔物語集と民話における―

大和田一稀さん（東京・世田谷学園高2年）

応募の動機

元々民俗学に興味はあり、本も数冊読んでいたが、興味ある分野について自ら調査し、それらをまとめ、研究する―というごく基本的な行いもしたことがなかった。そこで、興味を持っていた分野について研究することにした。

内容紹介・今後の課題

研究は主に2つに分かれている。1つ目は、古代日本の民話集『今昔物語集』に登場する鬼を分類し、当時の賤民と照らし合わせることで、「鬼＝賤民」という言説を検証してみる―という研究だ。様々な説話から鬼の特徴をとってみると、「肉食」「墓守」「警察」「演芸」などを行う点が賤民と鬼が共通していることがわかり、「鬼＝賤民」という言説にある程度の根拠を提示できた。



か投げかけていなかったが、現代では憎しみの視線も投げかけるようになったという、今昔における人と鬼との距離の変化の一端を明らかにできた。

2つ目の研究において参考とした民話は様々な地域の民話からまとめ上げたもので、言わば一般的な鬼である。より正確に比較するには、地域ごとに鬼の像をまとめ上げなければならぬだろう。

古代の鬼もまた然りで、研究に用いたのは『今昔物語

神社の香の物祭で、敬神婦人結の会テントで2種類の香の物をふるまう場面に遭遇。漬け込み神事で漬けられた香の物の余りと、漬けなおした香の物だという。そこで初めて、敬神婦人結の会が行う漬けなおしを知った。そこに、香の物の今後が関わっているのではないかと感じ、研究対象を香の物の漬けなおしに決めた。

②敬神婦人結の会への聞き込み

神事で漬け込んだ野菜は熱田神宮に奉納されるが、数が決まっており余りが出ると埋めていたそうだ。「もったいない」という思いから漬けなおしを始めたという。話を聞く中で、香の物の歴史を伝えるため、努力を惜しまず戦い続ける様子が見えた。2年という長い時間をかけ、神に供える香の物を氏子や参列者の口に届ける活動の本意は、やはり敬神の気持ちだということがわかった。

③2年目の香の物祭りへ

香の物祭は毎年8月21日に開催され、今回も本殿祭から漬け込み神事まで参加した。わずか2度の参加だが、歴史が刻まれていく感覚を覚えた。

今後も香の物祭に参加し続け、自分の生まれ育った地域を思い考えることを怠らないようにしていきたい。

集」のみだ。古代の「鬼」観を探るには説話集でなくとも、物語や随筆も重要な参考資料となる。古代の「鬼」像をできる限り再現するなら、それを記したできる限り多くの文書を解析しなければならぬ。

◇

本号掲載の研究レポートは、「『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト入賞作品集」掲載の文章を再構成したものです。詳しくは「作品集」をご覧ください。

高校生向けコンテスト『入賞作品集』を制作

今回のコンテスト入賞作品を掲載した「全国高校生創作コンテスト入賞作品集」を制作、3月1日に刊行の予定です。短篇小说と現代詩の部は佳作までの作品、短歌と俳句の部については入選まで全ての作品を収録。同作品集は、広報課窓口で先着順に無料配布いたします。発送をご希望の方も受け付けますので、希望部数と送付先をご連絡ください。また、「『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト入賞作品集」も3月1日に刊行を予定しています。同作品集もまた、同窓口で同様に無料配布いたします。

☎ 総合企画部広報課 (03・5466・0130)

i インフォダイジェスト

✍️… 在学生 👤… 保護者 🎓… 卒業生 👥… 一般 🏫… 受験生
📄内容 📅日にち ⌚️時間 📍場所 🎯対象 📝申し込み 💰料金 🗨️問い合わせ

大学からのお知らせ

卒業式、卒業証書・学位記並びに修了証書授与について



日 3 月 17 日(日)
【卒業式】
場 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
対・時
▶ 経済学部・法学部・人間開発学部 = 10 時～
▶ 文学部・神道文化学部・専攻科・別科 = 13 時～

【卒業証書・学位記、修了証書等授与】
対・時・場

▶ 経済学部・法学部 = 13 時～、渋谷キャンパス
▶ 文学部・神道文化学部・専攻科・別科 = 16 時～、渋谷キャンパス
▶ 人間開発学部 = 13 時 30 分～、たまプラーザキャンパス
問 総務課 (☎03・5466・0111)

📝 新年度オリエンテーション

内 学部・学科・学年ごとに新年度オリエンテーションを実施します。在籍確認シール交付、履修相談などが行われます。日程・場所は学内掲示や K - S M A P Y II など で 確 認 を。
日 3 月 30 日(土)～ 4 月 6 日(土)
📝 新年度科目等履修生出願書類を配布
内 新年度の科目等履修生出願期間は下記の通りです。出願の概略・募集要項は本学 H P を参照してください。
日 3 月 13 日(水)～ 15 日(金)

オープンカレッジ講座一覧

講座№	講座名	講師	場	回	曜	時	時期
01	神道を知る講座15 日本書紀と神道ー日本書紀1300年を前にー	岡田 莊司	渋谷	10	水	10:30～12:00	通年
02	『古事記』の神話を読む	谷口 雅博	渋谷	10	土	10:30～12:00	通年
03	万葉集を読むー巻三を読み直すー	土佐 秀里	渋谷	10	木	10:30～12:00	通年
04	万葉考古学18	杉山 林継	渋谷	10	水	12:50～14:20	通年
05	大人のための万葉集ー『万葉集』巻一の世界ー	城崎 陽子	渋谷	5	木	18:30～20:00	後期
06	源氏物語講座ーもう一つの『源氏物語』を読むー	豊島 秀範	渋谷	10	金	12:50～14:20	通年
07	能と文学14ー古典文学から能へー	岩崎 雅彦	渋谷	10	木	14:30～16:00	通年
08	短歌を読む 詠むー『万葉集』第15～16巻の鑑賞ー日本語“どうして”Q&A100ー併せて日本語の未来を考えるー	豊島 秀範	渋谷	10	木	14:30～16:00	通年
09	文学の風景ー恋愛の不可思議ー	中村 幸弘	渋谷	10	金	12:50～14:20	通年
10	中国の神話・伝説ー中国古代の人々の心ー	岡崎 直也	渋谷	10	土	10:30～12:00	前期
11	『論語』を読むー朱子の注釈・多様な別解ー	松田 稔	渋谷	10	木	12:50～14:20	後期
12	史料でたどる日本と東アジアの古代史7ー儀礼・宗教からみた古代史ー	石本 道明	渋谷	10	火	10:30～12:00	通年
13	折口信夫・釋道空研究17「大嘗祭の本義」を読む 日向の神話と神楽(宮崎県との連携講座)	佐藤 長門 他	渋谷	10	水	10:30～12:00	通年
14	民俗伝承学から日本文化を読む(前期)ー氏神さまと鎮守さまー	大石 泰夫 他	渋谷	10	土	12:50～16:00	前期
15	民俗伝承学から日本文化を読む(後期)ー氏神さまと鎮守さまー	大石 泰夫 他	渋谷	10	土	12:50～16:00	後期
16	中世後期の社会と儀礼	新谷 尚紀	渋谷	5	水	14:30～16:00	前期
17	歴史の捉え方ー人間こそが主人公ー	新谷 尚紀	渋谷	5	水	14:30～16:00	後期
18	『平家物語』屋島合戦譚・壇の浦合戦譚を読む	矢部健太郎	渋谷	10	月	12:50～14:20	通年
19	遊べる日本美術5ー遊べる浮世絵 江戸・明治の子どもと遊びー	松平 定知	渋谷	10	月	14:30～16:00	通年
20	華道に学ぶー道具を学ぶー	野中 哲照	渋谷	10	水	10:30～12:00	通年
21	世界の中の日本ー新冷戦とアジア情勢ー	藤澤 紫	渋谷	10	火	18:30～20:00	通年
22	江戸の刑罰(1)ー百敲(ひゃくたたき)と入墨ー	鳥居 茜月	渋谷	10	水	12:50～14:20	通年
23	江戸の刑罰(2)ー鬼平と人足寄場ー	久保田り子	渋谷	10	金	10:30～12:00	通年
24	かなの鑑賞と実作(一)ー升色紙の散らしの妙を学ぶー	高塩 博	渋谷	5	金	14:30～16:00	前期
25	かなの鑑賞と実作(二)ーもっとも細いかなの線を学ぶー	高塩 博	渋谷	5	金	14:30～16:00	後期
26	漢字(一)楷書<初級・中級>ー一点画の基礎と3つの大切なポイントを学ぶー	名児耶 明	渋谷	10	月	12:50～14:20	前期
27	漢字(二)行書<初級・中級>ー行書の基礎と名筆の臨書を学ぶー	名児耶 明	渋谷	10	月	12:50～14:20	後期
28	漢字(三)篆書<初級・中級>ー『泰山刻石』と鄧完白の『白氏草堂記』を習うー	小嶋 憲次	渋谷	10	月	14:30～16:00	前期
29	漢字(四)隷書<初級・中級>ー『史晨碑』と呉讓之「文語横披」を習うー	小嶋 憲次	渋谷	10	月	14:30～16:00	後期
30	漢字(五)行書<初級・中級>ー王羲之『集字聖教序』を習うー	筒井 茂徳	渋谷	10	木	14:30～16:00	前期
31	漢字(六)行書<初級・中級>ー王羲之の尺牘を習うー	筒井 茂徳	渋谷	10	木	14:30～16:00	後期
32	日本の漢字(一)行書・草書<初級・中級>ー橋逸勢「伊都内親王願文」を習うー	野村ひかり	渋谷	10	金	14:30～16:00	前期
33	日本の漢字(二)行書・草書<初級・中級>ー橋逸勢「伊都内親王願文」を習うー	野村ひかり	渋谷	10	金	14:30～16:00	後期
34	仮名(一)<初級・中級>ー美しい仮名を書きたい人のためにー	石井 清和	渋谷	10	木	12:50～14:20	前期
35	仮名(二)<初級・中級>ー美しい仮名を書きたい人のためにー	石井 清和	渋谷	10	木	12:50～14:20	後期
36	仮名(三)<初級>ー仮名書道に親しむー	杉浦 妙子	渋谷	10	火	12:50～14:20	前期
37	仮名(四)<中級>ー継色紙ー	杉浦 妙子	渋谷	10	火	12:50～14:20	後期
38	隷書(一)<初級・中級>ー隷書に親しむー	橋本 貴朗	渋谷	10	月	10:30～12:00	前期
39	篆刻(一)<初級・中級>ー篆書・篆刻に親しむー	橋本 貴朗	渋谷	10	月	10:30～12:00	後期
40	『古事記』下巻を読むー仁徳・履中・反正ー	横倉 佳男	渋谷	10	水	12:50～14:20	前期
41	源氏物語講読ー「関屋」[総合]「松風」の3帖を読むー	横倉 佳男	渋谷	10	水	12:50～14:20	後期
42	松尾芭蕉の紀行文を読むー「鹿島詣」・「笈の小文」ー	渡邊 卓	渋谷	10	木	10:45～12:15	通年
43	『枕草子』と『大鏡』などを併せ読むー中関白家の人々を追うー(上)	林田 孝和	渋谷	10	金	14:50～16:20	通年
44	健康の心理学	中村 正明	渋谷	10	金	14:50～16:20	通年
45	共催 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団・互助会保証株式会社 特別講座「豊かに生きるー納得できる死を迎えるためにー」	中村 幸弘	渋谷	10	月	13:05～14:35	通年
46		伊藤 英之	渋谷	5	火	13:05～14:35	前期
47		石井 研士 他	渋谷	5	金	14:30～16:00	通年

※講座番号が白字のものは新規開設講座。場所の「渋谷」は渋谷キャンパス、「たま」はたまプラーザキャンパス

キャリアサポート

📝 100社エントリー会

内 「どここの企業にエントリーしたいのかかわからない」「興味のある業界は見つけたけど、企業が絞れない」という方、必見。ナビサイトからどのようにエントリーをするのか説明をし、キャリアサポート課が厳選した優良企業リストもプレゼントします。
日 3 月 1 日(金)・ 4 日(月)
時 14 時 30 分～15 時 30 分
対 3 年生・院 1 年生

場 教務課窓口
問 教務課 (☎03・5466・0378)

📝 学生定期健康診断

内 全学生を対象に学生定期健康診断を毎年実施しています。在学生は必ず受診してください。
▶ 渋谷キャンパス
日 4 月 8 日(月)～13 日(土)
対 文・法・経済・神道文化学部の新 2 ～ 4 年生
▶ たまプラーザキャンパス
日 4 月 1 日(月)・ 3 日(水)
対 人間開発学部の新 2 ～ 4 年生

問 保健室 (☎03・5466・0148)
※日時の詳細と受け付け場所は保健室 H P など で 事 前 に 確 認 を。新入生には「オリエンテーション案内」で詳細を伝達

👥 オープンカレッジ 新年度の受講生募集

内 4 月に開講する47講座の受講生を募集します。特別講座を除く各講座には独自の単位を設定し、累積32単位となった時点で「国学院大学オープンカレッジ修了証」を授与します。
日・時・場別表参照
対・料

【入会金】
▶ 一般 = 5000 円
▶ 院友 (本学卒業生)、若木育成会会員 (在学生保護者など)、本学科目等履修生、他校学生・生徒 = 3000 円
▶ 本学学生・本法人教職員 = 無料
【更新料 (4 年間有効)】
▶ 一般 = 3000 円
▶ 院友 = 2000 円
▶ 本学学生・本法人教職員 = 無料
【受講料 (テキスト代含まず)】

📝 学内合同業界・企業説明会

内 本学学生を採用する意欲の高い企業・団体を学内に招き、採用担当者から直にお話を伺える説明会です。一日で多くの企業・団体と出会うことができます。毎年、この説明会をきっかけに内定を獲得する学生がいますので、積極的に参加してください。
日 3 月 5 日(火)・ 6 日(水)
時 10 時 30 分～16 時 20 分
対 3 年生・院 1 年生
※いずれも渋谷キャンパスで開催。詳細確認・申し込みは K - S M A P Y II のキャリアサポートシステムから

▶ 5 回講座 = 1 万円
▶ 10 回講座 = 2 万円
※若木育成会会員、本学の学生・教職員、渋谷区・横浜市青葉区在住者、他校学生・生徒は半額
申 大学 H P またはパンフレット (電話・ F A X で 請 求) で 開 講 講 座 を 確 認 し、「受講申込ハガキ」または「 F A X 用 受 講 申 込 書 」で申し込みを。申し込み・受講料納付期限は 3 月 22 日(金)。
問 エクステンションセンター (☎03・5466・0270、☎03・5466・0528)

イベント 30

📝 入学式



《大学院》
日 4 月 1 日(月)
時 13 時～
場 渋谷キャンパス常磐松ホール
《学部・専攻科・別科》
日 4 月 2 日(火)
時 ▶ 経済学部・神道文化学部・専攻科・別科 = 10 時～
▶ 文学部 = 12 時 30 分～
▶ 法学部・人間開発学部 = 14 時 30 分～
場 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。ご投稿は以下の要領でお願いします。
①今号の満足度 5 段階 (低 1 ～ 5 高) ②本紙へのご意見 ③住所 ④氏名 ⑤所属など (在学生の場合 < 学科・学年>、保護者、院友 < 本学卒業生>、本学・本法人教職員、その他いずれか) を明記の上、ハガキ・ F A X で 国学院大学広報課 (連絡先は 1 面参照) までお送りください。また、 Q R コードより E メール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報は法令に基づいて取り扱いいたします。
※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません



陸上競技部 箱根駅伝総合7位を報告

1月に行われた第95回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）で、過去最高の総合7位に入った陸上競技部の報告会が同15日、渋谷キャンパスで行われた。

赤井益久学長は「総合7位はご声援のおかげ。来年の活躍を期待したい」と挨拶。続いて結果報告に立った前田康弘監督は「選手たちは最高の舞台で最高の走りをしてくれた。さらなる高みを目指して1年間頑張っていきたい。（シード権を獲得した）3大駅伝（出雲・全日本・箱根）全てでスローガンである『歴史を変える挑戦』に挑んでいきたい」、土方英和主将（健体3）は「来年はさらに上を目指して頑張っていく」、5区で区間新記録を出して区間賞を獲得した浦野雄平選手（経営3）は「12月の壮行会で宣言した区間賞を獲得できてうれしい。来年は3大駅伝全てで区間賞を取ってチームの歴史を変えていきたい」とそれぞれ喜びとともに決意を語り、集まった学生らから大きな拍手が送られた。



団体・個人の成績

陸上競技部＝第73回香川丸亀国際ハーフマラソンが2月3日、香川県丸亀市のPikaraスタジアムを発着点とする21・0975㎞で行われ、藤木宏太選手（神文1）が、日本ジュニア歴代5位タイとなる1時間2分17秒で自己ベストを更新し21位だった。

このほか、森秀翔選手（史2）が1時間4分38秒で69位だった。

院友では、蜂須賀源選手（コニカミノルタ、平29卒・125期健体）が7位（1時間1分46秒）に入ったほか、内田健太選手（埼玉医大AC、平30卒・126期法）、寺田夏生選手（JR東日本、平26卒・122期健体）が50位以内に入った。

スキー部＝第92回全日本学生スキー選手権大会のスーパー大回転が1月30日、田沢湖スキー場国体コース（秋田県仙北市）で行われた。男子2部に5選手が出場し、堀川諒真選手（経ネ2）が58秒93で9位、河野真太郎選手（経ネ1）が59秒57で13位だった。

スーパー大回転を除くアルペン競技、クロスカントリー競技、ジャンプ・コンバインド競技は、2月19日から23日に野沢温泉スキー場（長野県野沢温泉村）で行われる。

卓球部＝「天皇杯・皇后杯 平成30年度全日本卓球選手権大会」が1月14～20日まで丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）で行われ、都道府県の予選会を通過した部員10人、院友3人が男女シングルス、男女ダブルス、混合ダブルスに出場した。結果は、女子シングルの阿部里歩選手（神文1）、男子ダブルスの松本拓海選手（法4）・小埜祐太選手（東京経済大）ペア、女子ダブルスの小島悠夏選手（初教4）・小島叶愛選手（初教1）ペア、混合ダブルスの小島叶愛選手・渡辺聡太選手（専修大）ペアの3回戦進出が最高だった。

KSPIRITS

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院メディア」に掲載。

弓道部



桐野晴香選手

神事とも深いつながりを持つ、日本の伝統文化「弓」。来年に創部100年を迎える国学院大学弓道部は、未経験者にも広く門戸を開いている。初心者として大学で弓道を始め、修練を積む桐野晴香選手（子支3）と五十嵐友樹選手（日文1）に聞いた。

——大学で弓道を始めようと思ったきっかけは

桐野選手（以下、桐野） これまで経験した団体競技ではなく、個人でできる競技に新しく挑戦したいと考えました。^{はかま}袴をつけて弓を引く先輩の姿が格好良く、憧れたことも理由です。

五十嵐選手（以下、五十嵐） 小学校から高校まで野球を続けていたのですが、剣道一筋だった姉から「大学で野球をしないなら、武道をやってみたら」と勧められたのがきっかけです。

——初心者として不安は

桐野 弓道部のある高校は多くないので、大学から始める人は珍しくありません。入部した同期生にも初心者が多く、心強かったです。

五十嵐 何事にも初めはあります。それに、「試

弓を通して 自分と向き合う

大学から始めた2選手に聞く

—— 桐野晴香選手（子支3）、
五十嵐友樹選手（日文1）

合に出られなくても、弓道を経験できるなら、それだけでも十分じゃないか」と考えました。

——弓道を通しての学びや気づきは

桐野 練習をどんなにしても的に矢が当たらず、悔しいときもありますが、苦しくても練習を頑張って結果が出たときの達成感は素晴らしいものです。学業やアルバイトでくじけそうになっても、あきらめずにいられるのは、続けることの大切さを弓道から学んだからです。

五十嵐 自分と向き合うことが多くなりました。弓道は自分を見直さないと、できませんから、「自分は今、どんな状態か」「前の試合では何が悪かったのか」を常に考えています。生活全般でも同じ失敗を繰り返さないようになったのは、弓道のおかげです。



五十嵐友樹選手

若木学友会 30年度予算など承認

若木学友会（会長・赤井益久学長）は、昨年7月25日に役員会を開催し、平成29年度若木学友会決算および30年度同会予算を承認した。

同会は、学生の文化活動、体育活動などにおいて人格の陶冶や健全な身体の発育、人間性の向上を図ることを目的に26年度に発足した。

表1 平成29年度 若木学友会 決算 (期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入の部				
科目		予算	決算	増減
会費収入	入会金	2,493,000	2,493,000	0
	会費	53,249,100	54,621,800	▲ 1,372,700
	特別会員(役職教員)	74,200	116,600	▲ 42,400
	特別会員(役職職員)	36,000	154,000	▲ 118,000
	協賛金(代表指導者)	197,000	204,000	▲ 7,000
	協賛金(一般)	0	119,000	▲ 119,000
前年度繰越金		2,710,412	2,710,412	0
合 計		58,759,712	60,418,812	▲ 1,659,100

支出の部				
科目		予算	決算	増減
援助費	自治会	2,500,000	2,500,000	0
	文化団体連合会	14,461,237	14,461,237	0
	体育連合会	23,675,867	23,675,867	0
	新聞学会	1,665,612	1,665,612	0
	全学応援団	2,887,061	2,887,061	0
	若木祭実行委員会	6,384,847	6,384,847	0
	若木体育祭 実行委員会	1,943,214	2,943,214	▲ 1,000,000
	同好会連合会	1,879,000	1,879,000	0
	非加盟各部会	1,600,000	1,060,000	540,000
	個人活動	270,000	80,000	190,000
返還費		349,600	111,000	238,600
予備費		1,143,274		1,143,274
次年度繰越金			2,770,974	▲ 2,770,974
合 計		58,759,712	60,418,812	▲ 1,659,100

表2 平成30年度 若木学友会 予算

収入の部				
科目		予算	前年度予算	増減
会費収入	入会金	2,581,000	2,493,000	88,000
	会費	52,130,800	53,249,100	▲ 1,118,300
	特別会員(役職教員)	100,000	74,200	25,800
	特別会員(役職職員)	50,000	36,000	14,000
	協賛金(代表指導者)	200,000	197,000	3,000
	協賛金(一般)	100,000	0	100,000
前年度繰越金		2,770,974	2,710,412	60,562
合 計		57,932,774	58,759,712	▲ 826,938

支出の部				
	科目	予算	前年度予算	増減
援助費	自治会	2,100,000	2,500,000	▲ 400,000
	文化団体連合会	14,345,140	14,461,237	▲ 116,097
	体育連合会	23,922,013	23,675,867	246,146
	新聞学会	1,372,544	1,665,612	▲ 293,068
	全学応援団	2,964,696	2,887,061	77,635
	若木祭実行委員会	6,313,704	6,384,847	▲ 71,143
	若木体育祭 実行委員会	921,562	1,943,214	▲ 1,021,652
	同好会連合会	1,865,000	1,879,000	▲ 14,000
	非加盟各部会	1,900,000	1,600,000	300,000
	個人活動	270,000	270,000	0
返還費	500,000	349,600	150,400	
予備費	1,458,115	1,143,274	314,841	
合 計		57,932,774	58,759,712	▲ 826,938

第2回古事記アートコンテスト

古事記を身近に感じるきっかけに 特選2作品を紹介

『古事記』に対する理解や日本文化への関心を促すことを目的とした第2回「古事記アートコンテスト」。各部門の入選者の氏名（敬称略）、作品名を掲載するとともに、最優秀賞の特選に輝いた作品を紹介する。



高校生部門

「大國主神と白兎」

半戸健太さん(神奈川・東海大学付属相模高3年)

「絵が好きで高校の美術部に所属しています。部活でコンテストを知り、古事記に興味があったわけではありませんが、友達と一緒に参加しました。入賞すると思っていませんでしたので非常にうれしく思います。どこか堅苦しい印象があった古事記ですが、コンテストを機に読んでみると、意外にもなじみやすい内容で印象が変わりました」



大学生部門

「天照大御神と八咫鳥」

長谷川さくらさん(日文1)

「高校3年生の時に、偶然インターネットでこのコンテストを見つけ、大学生活の一つの目標にしていました。受賞には驚くと同時に感謝しています。古事記を絵・イラストで表現する難しさを感じながら制作しました。神様の服装や髪形など、できるだけオリジナルにならないように気をつけて描きたいと思い、慎重にデザインを考えました」

高校生部門		
部門	作品名	受賞者
特選	大國主神と白兎	半戸健太(神奈川・東海大学付属相模高3年)
入選	集い	鈴木知慧(栃木・真岡女子高2年)
	口誦撰録	村山風沙(神奈川・東海大学付属相模高3年)
佳作	イザナギとイザナミの鬼ごっこ	福田晏那(宮崎・宮崎日本大学高2年)
	天の岩戸隠れ事件	山本愛結奈(北海道・芽室高2年)
	元始、女性は大陽であった	植田理紗子(神奈川・横浜緑ヶ丘高2年)
審査員特別賞	希望のアマテラス	桑畑莉花(宮崎・佐土原高2年)

大学生部門		
部門	作品名	受賞者
特選	天照大御神と八咫鳥	長谷川さくら(国学院大学・日文1)
入選	食物神の死	矢野理沙(国学院大学・日文2)
	木花咲耶姫	潮嘉子(岡山・倉敷芸術科学大学3年)
佳作	新約古事記 上巻 第三章 八岐大蛇 依	酒井弘靖(東京・芝浦工業大学4年)
	これは日本の神様のお話です	湯本巴瑠季(山形・東北公益文科大学2年)
	須佐之男命の生涯	吉山真未(国学院大学・神文1)
審査員特別賞	日のあたる芸能〜C'mon,baby〜	小林翔也(国学院大学・哲3)

審査員
(敬称略)

谷口雅博(古事記学センター長・文学部教授)、武田秀章(神道文化学部長・教授)、藤澤紫(文学部教授)、松山文彦(一般財団法人神道文化会専務理事・東京大神宮宮司)、中野リョーコ(フリーデザイナー・イラストレーター)、近藤ようこ(漫画家)

博物館

No.20

学芸員の資料ファイル

本学出身の国文学者・民俗学者であり、本学でも教鞭をとった折口信夫(1887～1953年)は、昭和14(1939)年4月に箱根・仙石原に山荘を建て、「叢隠居」と名付けました(設計:鈴木金太郎)。富士山や台ヶ岳、芦ノ湖、仙石原草原などが一望できる地で、折口は夏休みを中心に門弟たちと過ごし、論文執筆や創作活動を行いました。柳田國男や穂積忠らを

今月の資料

叢隠居(折口信夫書斎)

招いて連句や散策を楽しむこともありました。展示はその書斎の一部で、23年頃の初夏に「死者の書 続編」を執筆する場を想定復元したものです。

展示案内: 本資料は、博物館の常設展示(校史展示室)でご覧いただけます。

ウェブサイト案内:
<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>